# 丹波篠山市立城南学校　学習や生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力・学習状況調査（以下「市調査」）及び全国学力・学習状況調査（以下「全国調査」）は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

## 【全国学力・学習状況調査及び丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要】

### 全体的な状況

・市調査、全国調査ともに、今まで無解答の割合が全国平均より高かったのですが、本年度は全国平均より低くなっていました。これは、自分で課題を設定し、その課題を自分で解決しようというスタイルに授業を改善したことで、子どもたちがあきらめずに最後まで問題に取り組もうとする意欲が向上したからだと考えています。
・全国調査では、「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」等、基本的生活習慣に関わる質問に対して「できている」と回答した児童が大変多くなっています。基本的な生活習慣が安定していることが教科等の学力の安定につながっています。今後とも、ご家庭でも生活習慣の向上に取り組んでいただくようお願いします。

### 課題と対応

国語　**自分の考えをまとめ、文章の構成を工夫してよりよく書く力の育成**

・３～５年生は「書くこと」の領域、６年生は、文章全体の構成を正しくとらえることに課題が見られました。日頃の授業から、筆者が何を伝えたいのかを考えながら読んだり、自分の考えや思いをノートにまとめたり、必要な情報を見つけて要約したりする学習に取り組みたいと思います。

算数　**図やグラフなどのデータを読み取り、分類・整理する力の育成**

・どの学年も、図やグラフから読み取ったり、分類・整理したりする力に課題が見られました。身の回りにある図やグラフに気づき、普段から図やグラフのよさに気づかせ、図やグラフの変化から何が分かるかを考えさせるなど、資料を主体的に活用する力を育成する授業づくりをめざします。

学習・生活習慣　**充実感と向上心の育成**

・３～５年生は「あきらめずに最後までやりぬく力」や「将来の夢や希望がある」児童が全国平均より少ないことが分かりました。学校だけでなく家庭と連携し、将来を見越して子どもたちに夢や希望が持てるような指導をしていきたいと考えています。

## 【保護者・校区の方へのお願い】

質問結果から、学校での生活においては「先生や友だちの支え」が平均より高く、「学校が楽しい」と感じる児童が多くいました。これは教職員がどの児童にも分かりやすい授業づくりをめざして教材研究を行ったり、居心地の良いクラスづくりを通して友だちや教職員との信頼関係を築いたりしている結果だと思われます。これからも、子どもたちにとってよりよい学級・学校となるように教職員が共通理解をはかり、児童の健全育成を目指した取組をすすめていきたいと思います。

家庭での生活においては、高学年のテレビゲームやスマホの使用時間が、**平日でも、２時間以上と回答した児童が約６割**もいました。そのことにより、家庭学習の時間が少なくなっているようです。その傾向は低学年でも見られ、結果として寝る時間が遅い児童が多くいました。毎年カレンダー等で配付している「インターネットルールのおやくそく」を見ていただき、「テレビゲーム・スマホで遊ぶ時間を決める」など、ご家庭でルールの再確認をよろしくお願いします。